

## 第 110 回監視・評価検討会 本日の確認事項

原子力規制庁

### 議題1. 増設ALPS配管洗浄作業における身体汚染について

- ・ レッドゾーンでの対応は慎重に行われていると理解するが、イエローゾーンでは、班長の責任が重く、さらに個々の作業員がリスクに対する意識を持つことが必要な状況と考えるため、事前の確認の強化とチェックポイントを設ける等の作業手順を整えることが必要ではないか(井口委員)
- ・ 東京電力にリスクを考える力量(知識、指導力等)があるのかという観点と作業員の安全教育という観点から、20～30年に渡る廃炉作業を適切に実施していくために、正確な判断ができる人材を育成しその力量を継続できる仕組みを作ってほしい(蜂須賀委員)
- ・ 事案が起こってから対応する事後対応ではなく、新しい作業や作業における変化に重点的に対応するメリハリを付けた対応で、事前に対処する仕組みを考えてほしい(高坂オブザーバー)

### 議題2. ALPS処理水海洋放出の進捗状況

- ・ 分析結果に対する解釈について、丁寧に説明を行ってほしい(井口委員、高坂オブザーバー)

### 議題3. 中期的リスクの低減目標マップにおける取組の進捗状況

- ・ 1号機原子炉建屋南面外壁に確認されたホットスポットについて、汚染の核種やコンクリートへの浸

透について、過去の研究等を参考に、汚染のメカニズム等を検討すべき(山本委員、井口委員)

#### 議題4. NDF技術戦略プラン

- ・ 地元の企業が廃炉作業に参画することが技術的に難しいという実状に対して、地元企業から出向等の形で技術について学ぶという、長期的な地元企業の人材育成に取り組んでほしい(蜂須賀委員)

#### 議題5. その他

- ・ 空調系統の設計・管理については、分析1棟、減容処理設備における事例を踏まえて、体制の強化をしてほしい(高坂オブザーバー)

・ 本資料は、検討会において認識共有した内容をもとに作成し、ホームページに掲載しています。  
なお、会議の進行と同時並行で作成しているため、正確な表現ではない部分があります。